CN-MP700VD/CN-MP700D

Panasonic®

取扱説明書

ポータブルSDカーナビステーション

品 番

7V型ワイドモニター
FM-VICS/FMトランスミッター内蔵 **CN-MP700VD**

7V型ワイドモニター
FMトランスミッター内蔵 **CN-MP700D**

5V型ワイドモニター
FM-VICS/FMトランスミッター内蔵 **CN-MP500VD**

5V型ワイドモニター
FMトランスミッター内蔵 **CN-MP500D**

ご使用の前に、「安全上のご注意」(P.8 ～ P.15)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 「仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ」は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 仮保証書/本保証書※は、説明書とともに大切に保管してください。

※ 本保証書は、ユーザー登録をしていただいたあとに発行されます。
必ずユーザー登録をしてください。

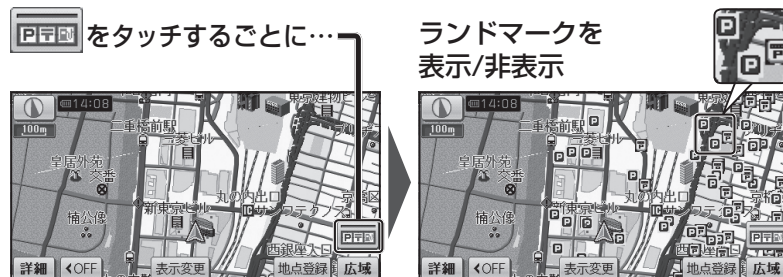
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ 別添付

主な特長

ランドマークセレクト

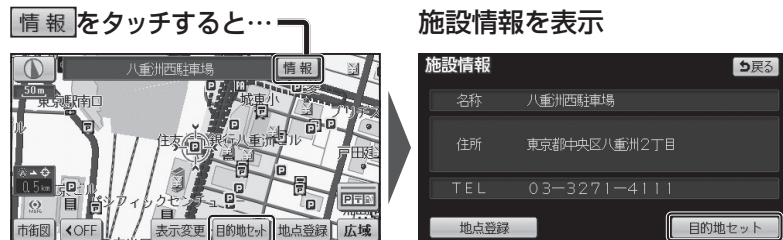
地図上にランドマークを表示できます　→ P.74

自車位置周辺の駐車場やコンビニ、銀行などをすばやく探せます。

をタッチするごとに…

ランドマークを
表示/非表示

表示されたランドマークの情報が見られます　→ P.75

ランドマークにカーソルを合わせて
情報 をタッチすると…

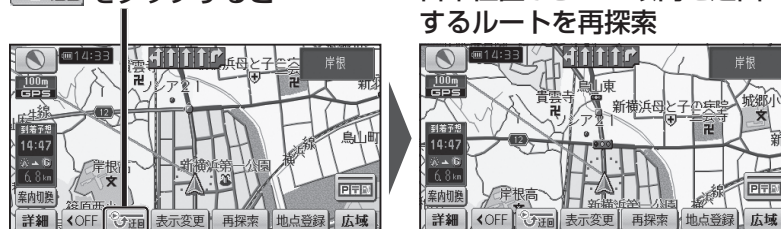
施設情報を表示

ランドマークの地点を行き先に設定できます。

表示させるランドマークは変更できます　→ P.74

5種類まで選べます

高速迂回ルート探索

迂回 をタッチすると…

自車位置から2㎞以内を迂回
するルートを再探索

高速5ルート探索

5つの条件からルートを比較できます　→ P.91

探索結果画面から
5ルート をタッチすると…

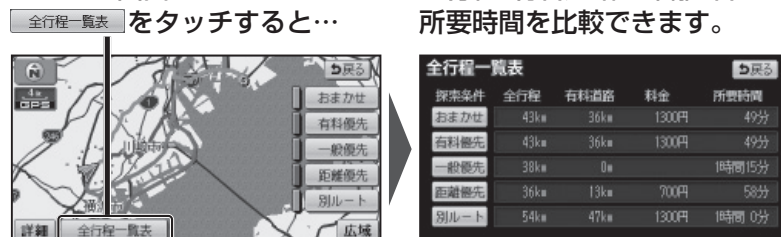
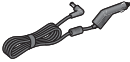
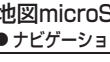
5ルートを表示

全行程一覧からルートを比較できます　→ P.91

5ルート画面から
全行程一覧表 をタッチすると…

全行程・有料道路の距離・料金・
所要時間を比較できます。

全行程一覧表

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
おまかせ	43km	36km	1300円	49分
有料優先	43km	36km	1300円	49分
一般優先	38km	0m		1時間15分
距離優先	36km	13km	700円	58分
別ルート	54km	47km	1300円	1時間 0分

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

共通

番号	品　名	数量
❶	ナビゲーション本体	1
❷	車載用吸盤スタンド	1
❸	シガーライターコード(2 m)	1
❹	取付シート	1
❺	クッション材	2
❻	スタンド用ストラップ	1
❼	タッピンねじ(φ4×12 ㎜)	1
❽	クリーナー ● スタンド取付用	1
❾	地図microSDHCカード ● ナビゲーション本体に挿入済	1
❿	ACアダプター	1
⓫	家庭用スタンド	1
⓬	ゴムテープ(大)	1
⓭	ゴムテープ(小)	4

(700V)(500V)のみ

番号	品　名	数量
⓮	FM-VICS用アンテナ	1
⓯	アンテナコード(4 m)	1
⓰	アーステープ	1
⓱	コードクランパー	3
⓲	クリーナー ● アンテナ取付用	1

主な添付品

品　名	数量
取扱説明書(本書)	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1

- 寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

本書の読みかた

本書は、CN-MP700VDを例に説明しています。

機種ごとに仕様が異なる場合は、下記の記号で区分しています。

(700V) :CN-MP700VD
(700) :CN-MP700D
(500V) :CN-MP500VD
(500) :CN-MP500D

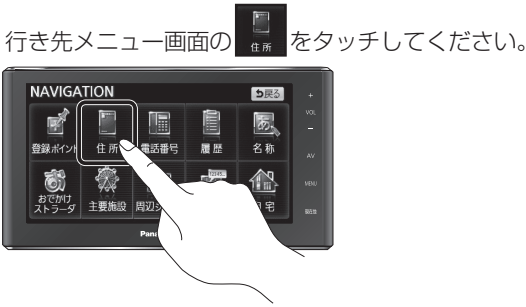
■取り付け・配線は
→P.26～37

■別売品については
→P.138~141

本書では、タッチキーを**黒地に白文字**で表しています。

例：「行き先メニューから、**住所**を選ぶ」

行き先メニュー画面の 住所 をタッチしてください。

機種別の相違点

仕様・機能	機　種			
	(700V)	(700)	(500V)	(500)
画面サイズ	7V型	7V型	5V型	5V型
FM-VICS	○	※	○	※

※ 別売のFM-VICSキット(CA-VF010D)が必要です。

もくじ

主な特長 2
内容物の確認 4
本書の読みかた 5

安全上のご注意 8

はじめに

使用上のお願い 16
SDメモリーカードについて 20
各部のなまえとはたらき 22
取り付け・配線をする 26
電源について 38

準　備

準備する（確認・設定） 44
メニュー画面の操作 52

ナビゲーション

地図の紹介 56
地図の見かた 60
地図の操作 66
行き先までのルートを作るには 80
行き先を探す 82
ルートを探索する 88
探索結果画面から設定・確認する 90
ルートを確認する 98
ルート探索について 100
ルート案内中に 102
ルート音声案内について 104
もう一度ルートを探索する（再探索） 106
地点を登録する（登録ポイント） 108
迂回したいエリアを登録する（迂回メモリー） 112
Google（グーグル）マップ™を利用する 114
歩行用ナビゲーションとして使う（おでかけウォーク） 116
VICS（ビックス）情報を見る 118

AV（オーディオ/ビジュアル）

AVの基本操作 122
ワンセグを見る 124
動画を見る（SDビデオ再生） 130
音楽を再生する 132
静止画を見る（PHOTO（フォト）） 134
現在地画面にAV画面を表示する 135

必要なとき

別売品と組み合わせて使う 138
利用に応じた設定に変える 142
文字入力のしかた 150
お手入れ 152

故障かな!?

よくあるご質問 154
故障かな!? 156

その他

データ作成時の留意点 168
本機を廃棄するときのお願い 172
ナビゲーションシステムとは 176
地図データベースについて 180
VICSについてのお問い合わせ 187
周辺ジャンル一覧表 190
主要施設一覧表 192
さくいん（メニュー一覧） 193
さくいん（50音順） 194
保証とアフターサービス 200
仕様 204
商標について 206
取付角度ゲージ 208

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

区分	内容
⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

図記号	内容
⃠	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

内蔵電池に関するご注意

⚠ 危険

本機は充電式電池を内蔵しています

■廃棄時以外は、分解しない

■指定以外の方法で充電しない

■火の中へ投入、加熱をしない

■火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

電池の液が漏れたときは、以下の処置をする

万一、液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水でよく洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

ACアダプター（付属）に関するご注意

⚠ 危険

必ず、指定のACアダプターを使用する

指定以外のAC アダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

電源プラグに付いたほこりや汚れを取り除き、根元まで確実に差し込む

感電や発熱による火災の原因になります。

- ときどき乾いた布でふき、ほこりや汚れを取り除いてください。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で抜き差しはしない

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 注意

ACアダプターの本体部分を持ってコンセントから抜く

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

通電中のACアダプターに長時間直接触れて使用しない

低温やけどの原因になることがあります。

※1 FM-VICS用アンテナ： 700V 500V ：付属 ／ 700 500 ：別売

ACアダプター（付属）に関するご注意

⚠ 注意

座布団やタオル等でくるんだりしない

AC アダプターが異常に発熱し、故障や火災の原因になります。

著しく温度が高くなるところ※に置かない

故障や火災の原因になることがあります。

※ 直射日光のあたるところ、アイロンや暖房器具の近くなど

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

本機はDC 12 V ⊖アース車専用です

DC 24 V 車には使用できません。
火災や故障の原因になります。

説明書に従って、正しく取り付けや配線をする

火災や故障の原因になります。
作業が困難な場合は、お買い上げの販売店（専門業者）へご依頼ください。

シガーライタープラグは確実に差し込む

感電や発熱による火災などの原因になります。

シガーライターソケットは、定期的に点検・清掃する

ソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因になります。

作業後は、車の電装品※の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因になります。

※ ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

FM-VICS用※1アンテナは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因になります。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因になります。

※ ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因になります。
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けに、車の保安部品※を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因になります。

※ ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

シガーライターソケットまたはアクセサリー用電源ソケットから複数の電源をとらない

複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や感電、故障、車両側ヒューズの断線などの原因になります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止

分解や改造をしない（廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く）

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
交通事故や火災、感電、故障の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

取り付けや配線をするとき

⚠注意

必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因になります。

車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は確実に取り付ける

走行中にはずれる・落下するなど、交通事故やけがの原因になります。

- 設置面の汚れ・ワックスなどをふき取り、スタンドを取付シートの上に確実に取り付けてください。
- スタンドの落下を防ぐために付属のスタンド用ストラップをご使用ください。
- 車載時は、必ずナビゲーション本体をスタンドに固定してご使用ください。
  また、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

高温になる場所※に取り付けない

火災や故障の原因になります。

※ ヒーターの熱風などが直接当たるところなど

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因になります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしない
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回す
- ドライバーなどの先で押し込まない

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因になります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因になります。

ご使用になるとき

⚠警告

ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因になります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因になります。

病院や航空機内など、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器※の近くでは電源を切る

電子機器や医用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいる可能性があるので、電源を切ってください。
- 心臓ペースメーカー、その他医用電子機器をご使用になる場合は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

※ 心臓ペースメーカー、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など

運転中や歩行中に操作したり、画像や表示を注視しない

交通事故やけがの原因になります。
必ず安全な場所でご使用ください。
（車載時は、必ず安全な場所に停車してご使用ください）

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

本機を自動車以外※には、使用しない

本機のルート案内は自動車専用のものです。歩行時には参考としてご使用ください。事故やけがの原因になります。

※ 船舶・航空機・自転車・バイクなど

ご使用になるとき

⚠ 警告

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。
万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

屋外で使用する場合には、雨水・海水などがかかる場所やほこりの多い場所で使用しない

本機は防水・防塵構造ではありません。
火災や発煙・発火、感電、故障の原因になります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

シガーライタープラグに水などをかけない

ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

大きな音量で使用しない

周囲の音が聞こえないことによる交通事故の原因になります。

運転中や歩行中、周囲の音が聞こえないと危険な場所※でヘッドホンを使わない

交通事故の原因になります。密閉型（周囲の音が聞こえにくくなるタイプ）は、使用しないでください。
※ 踏切や横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因になります。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

ナビゲーション本体と車載用吸盤スタンドの温度を確認してから着脱をする

高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などはスタンドなどが高温になり、やけどをするおそれがあります。

ヘッドホン接続前に音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
音量は少しずつ上げてご使用ください。

取り付け状態を定期的に点検する

走行中にはずれる・落下するなど、交通事故やけがの原因になります。
スタンドやスタンド用ストラップにゆるみがないか確認してください。

本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因になります。

通電中のナビゲーション本体に長時間直接触れて使用しない

低温やけどの原因になることがあります。
手に持って長時間使用しないでください。

ワンセグ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない／人に向けない

アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因になります。
アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

■ お買い上げ時の内蔵電池の残量について

● お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからお使いください。（P.42）

■ 車内で使用するときのお願い

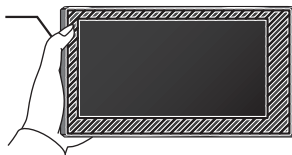
● 安全のため、走行中は本機の機能･操作が一部制限されます。
必ず安全な場所に停車してご使用ください。（ワンセグ･SDビデオ再生は、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。）

● シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
（アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください）

■ 液晶ディスプレイについて

● 傷がつきやすいため、先端が固いもの（爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。

● 液晶ディスプレイを強く押さないでください。変色する場合があります。

● 本機前面（▨部）に指をかけたままタッチキーをタッチすると、正常に動作しない場合があります。

● 液晶の保護シートを使用する場合は、必ず指定の低反射シートを使用してください。指定以外の保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。

･低反射シート（→P.141）

700V 700 :CA-ZND030D（7V型用）

500V 500 :CA-ZND040D（5V型用）

● 表面の汚れなどは、市販のクリーニングクロスを使い、指の腹で軽く拭いてください。

● 本機を使用しないときは、直射日光があたらないようにしてください。
（車用のサンシェードなどをお使いください）

● 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。

● 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。

● **液晶ディスプレイの画素は、99.99%以上の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。
そのため、黒い点が現れたり、赤･緑･青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。また、本機でワンセグを録画する際は、これらの点は録画されません。**

■ GPSアンテナ（本体の天面に内蔵）について

● シールなどを貼ると、GPS信号が受信できなくなる場合があります。

● 車体の形状や電波を通さない一部のガラスによっては、電波がさえぎられ、自車位置が正しく表示されない場合があります。そのときは、別売の車外取付用GPSアンテナ（CA-GA020D）をご使用ください。（P.139）

● GPSアンテナの上にワンセグ用ロッドアンテナを近づけないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなる場合があります。

■ 受信妨害について

● 本機は強い電波を送受信する機器（ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など）からなるべく離れた場所に取り付けてください。
また、携帯電話は、なるべく本機から離してお使いください。
これらの機器の近くで本機を使用すると、下記のようなことが起こる場合があります。
･本機の映像や音声が乱れる
･現在地を正しく表示できない
･ワンセグが受信しづらくなる
･本機の近くで使用している機器（上記など）が正常に動作しない

● 動作中のテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで、本機を使用しないでください。本機のワンセグやGPSの受信状態が悪くなったり、テレビ、ラジオなどの受信状態が悪くなる場合があります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

■ ご使用にならないときは

- 極度な高温・低温になる場所に放置しないでください。
  夏季の閉め切った車内、長時間直射日光や暖房器具の熱が直接あたるところ、極端な低温になるところに放置すると、変形・変色・故障の原因になります。
- 使用しないときは、常温の場所に保管してください。

■ 持ち運ぶとき/収納するときは

- 液晶ディスプレイ面を持たないでください。
- ワンセグ用ロッドアンテナは収納し、接続している機器やコード類などを取り外してください。
- ストラップ(市販品)を使用するときは、ときどき傷んでいないかご確認ください。ストラップが切れて本機が落下するおそれがあります。
- かばんなどに入れるときは、電源を切って、LOCK(ロック)ポジション(P.43)にしてください。
- 液晶ディスプレイ破損を防止するため、下記の点に気を付けてください。
  ・ズボンのポケットに入れたまま座らない
  ・かばんの底など、無理な力が加わるところに入れない
  ・ストラップなどのアクセサリーや鍵などの金属や硬いものがあたらないようにする

ワンセグ放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 家庭用に比べて受信エリアは狭くなり、また、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像や音声などに不具合が生じる場合があります。
  本機から離してご使用ください。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。
  将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 地上アナログ放送には対応していません。

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスをうけた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合

詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、当社はこれを十分尊重いたします。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、自動車による道路上での使用を前提に作られています。
  船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使いかたから逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、本機に登録した個人情報（登録ポイントの位置や電話番号など）は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。
  当社は一切の責任を負いかねます。
- **次の場合、補償はできません。**
  ・誤使用や電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
  ・誤使用や電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

大切な情報(登録ポイントなど)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをお勧めします。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードについて

■ **本機は、2GBまでのSDメモリーカードおよび32GBまでのSDHCメモリーカードに対応しています。**
それ以外のSDメモリーカードは使用できません。

■ **本機では、SDメモリーカードを使用して下記のことができます。**
下記以外の用途には使用できません。

- 弊社サイトおでかけストラーダからダウンロードした、おでかけプラン・おでかけスポットの利用(P.84)
- ウェブサイトGoogleマップ™からダウンロードした地点の登録(P.114)
- ワンセグの番組の録画(P.129)
- 動画(SD VIDEO)の再生。(P.130)
- デジタルカメラなどで撮影した静止画(BMP/JPG)の再生(P.134)
- 音楽データ(MP3/WMA)の再生(P.132)

- 長時間お使いになったあと、SDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカード対応の機器でなければ使用できません。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

次のことをお守りください。

- 本機から取り出したら、必ずケースに収納する
- 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚さない
- 貼られているラベルをはがさない
- シールやラベルを重ねて貼り付けない
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない

お願い

- miniSDカード/microSDカードを 使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着してください。取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

本機で使用できるSDメモリーカード（推奨品）

メディア	容量	品番(パナソニック製)
SDHCメモリーカード	32GB	RP-SDW32GJ1K
SDメモリーカード	2GB	RP-SDW02GJ1K
microSDHCカード	16GB	RP-SM16GCJ1K
microSDカード	2GB	RP-SM02GCJ1K

- 品番は予告なく変更される場合があります。

（2010年2月現在）

地図microSDHCカード（付属品）について

■ **付属の地図microSDHCカードは本機専用です。**
■ **お買い上げ時に、ナビゲーション本体底面に挿入されています。**

- 本機を使用するときは、地図microSDHCカードが必要です。
地図のバージョンアップなど、必要なとき以外は取り出さないでください。
- 他の機器に挿入しても、使用できません。
- 地図microSDHCカードをSDメモリーカード挿入口に挿入しても使用できません。
- データを他のmicroSDHCカードにコピーしても使用できません。
- データを、解析・変更・消去・フォーマットしないでください。
本機が正常に動作しなくなります。

各部のなまえとはたらき 700V 700

ワンセグ用アンテナ端子(ワンセグ)(P.139)
ワンセグ用アンテナ(別売:CA-TA020D)を接続する。

ワンセグ用ロッドアンテナ
(P.124)
TV(ワンセグ)を見るときに伸ばして使用する。

時計表示
GPS衛星から信号を受信して、自動的に表示されます。(手動では調整できません)

GPSアンテナ(内蔵)

VOLUMEタッチキー(+/−)
(P.122)
AVの音量を調整する。

AVタッチキー (P.122)
AVメニューが表示されます。

MENUタッチキー (P.52)
メインメニューが表示されます。

現在地タッチキー (P.62)
現在地画面が表示されます。

液晶ディスプレイ

充電ランプ(CHG)(P.42)
充電中に点灯します。

電源スイッチ
(PWR OFF/ON•LOCK)
(P.39、41、43)
本機の電源を切/入・ロックする。

ヘッドホン端子()(P.141)
ヘッドホン(市販)を接続する。

お知らせ

- 外部アンテナ用の端子(ワンセグ、GPS)は、車載用吸盤スタンドにナビゲーション本体を取り付けている場合のみ使用できます。

GPSアンテナ端子(GPS)(P.139)
車外取り付け用のGPSアンテナ
(別売:CA-GA020D)を接続する。

リセットスイッチ(RESET)
(P.166)
本機をリセットする。

SDメモリーカード挿入口※

■ **挿入のしかた**

カバーを開く　カードを挿入する

■ **取り出しかた**

カードを押す　取り出す

- カチッと音がするまで差し込む。
- miniSDカード/microSDカードの場合は、必ずアダプター(miniSDカード/microSDカードに付属)を装着してください。また、必ずアダプターを持って抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

スピーカー

ストラップ取付穴

DC IN 5V (P.40、141)
付属のACアダプターを接続する。

地図microSDHCカード挿入口※

- お買い上げ時に、地図microSDHCカード挿入済み。
- バージョンアップなど、必要なとき以外は取り出さないでください。

■ **取り出しかた**

カードを押す　取り出す

- カードの中央をしっかり押し込んでください。

■ **挿入のしかた**

カバーを開く　カードを挿入する

- カチッと音がするまで差し込む。
- カチッと音がしない場合は、一度カードを完全に抜いて、再度差し込んでください。

※ SDメモリーカード・地図microSDHCカードの出し入れをするときは、本機を車載用吸盤スタンドから取りはずしてください。

ワンセグ用アンテナ端子(ワンセグY)(P.139)
ワンセグ用アンテナ(別売:CA-TA020D)を接続する。

ワンセグ用ロッドアンテナ
(P.124)
TV(ワンセグ)を見るときに伸ばして使用する。

GPSアンテナ(内蔵)

液晶ディスプレイ

VOLUME(ボリューム)タッチキー(+/−)
(P.122)
AVの音量を調整する。

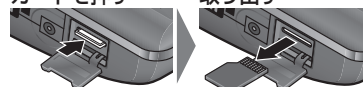
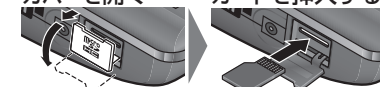
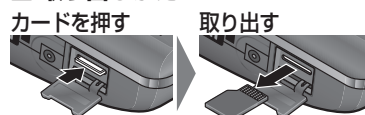
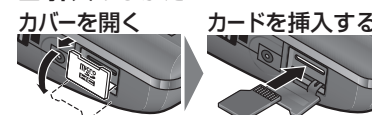
現在地タッチキー (P.62)
現在地画面が表示されます。

MENU(メニュー)タッチキー (P.52)
メインメニューが表示されます。

AVタッチキー (P.122)
AVメニューが表示されます。

時計表示
GPS衛星から信号を受信して、自動的に表示されます。
(手動では調整できません)

電源スイッチ
(PWR OFF/ON・LOCK)
(P.39、41、43)
本機の電源を切/入・ロックする。

充電ランプ(CHG)(P.42)
充電中に点灯します。

お知らせ

- 外部アンテナ用の端子(ワンセグY、GPSY)は、車載用吸盤スタンドにナビゲーション本体を取り付けている場合のみ使用できます。

GPSアンテナ端子(GPSY)(P.139)
車外取り付け用のGPSアンテナ
(別売:CA-GA020D)を接続する。

リセットスイッチ(RESET)
(P.166)
本機をリセットする。

SDメモリーカード挿入口※

■ **挿入のしかた**
カバーを開く　カードを挿入する

■ **取り出しかた**
カードを押す　取り出す

- カチッと音がするまで差し込む。
- **miniSDカード/microSDカードの場合は、必ずアダプター(miniSDカード/microSDカードに付属)を装着してください。また、必ずアダプターを持って抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。**

スピーカー　**ストラップ取付穴**

ヘッドホン端子(🎧)
(P.141)
ヘッドホン(市販)を接続する。

DC IN 5V ⊖-C-⊕(P.40、141)
付属のACアダプターを接続する。

地図microSDHCカード挿入口※

- お買い上げ時に、地図microSDHCカード挿入済み。
- バージョンアップなど、必要なとき以外は取り出さないでください。

■ **取り出しかた**
カードを押す　取り出す

- カードの中央をしっかり押し込んでください。

■ **挿入のしかた**
カバーを開く　カードを挿入する

- カチッと音がするまで差し込む。
- カチッと音がしない場合は、一度カードを完全に抜いて、再度差し込んでください。

※ SDメモリーカード・地図microSDHCカードの出し入れをするときは、本機を車載用吸盤スタンドから取りはずしてください。

取り付け・配線をする

取り付け位置について

車載用吸盤スタンド

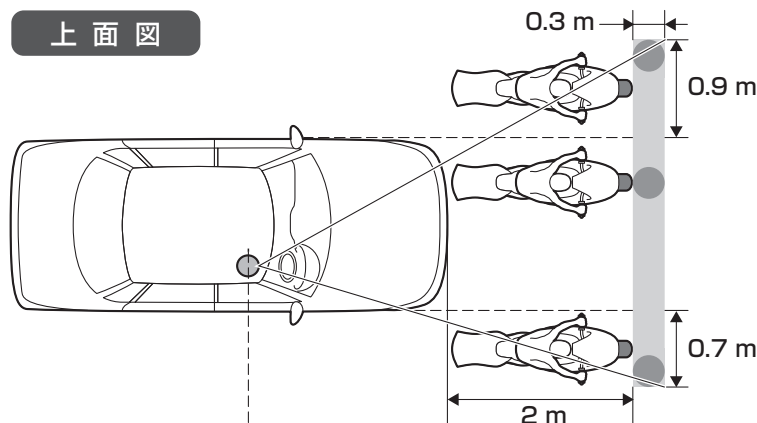
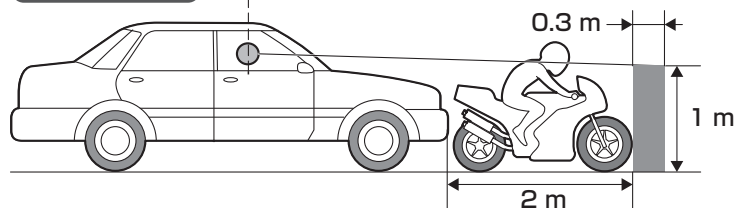
国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、運転者の視界を妨げないように「前方視界基準」(下記)に従って取り付けてください。

※ 道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)、細目告示 第27 条 および 別添29

前方視界基準

■ **対象車種**
専ら乗用の用に供する自動車(乗車定員11 人以上のものを除く)
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

■ **基準概要**
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したもの)を鏡等を用いず直接視認できること。

● 図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右逆になります。

必ずダッシュボードの平らな面にしっかり取り付け、安定させてください。

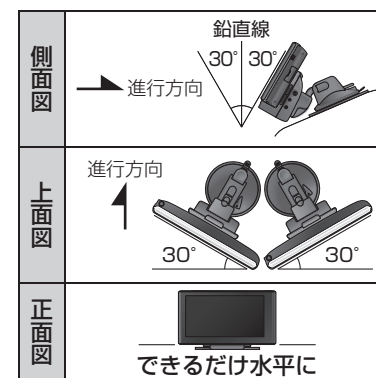
下記のような場所には絶対に取り付けないでください。落下する原因になります。

場所	
取付シートが密着しないような強い曲面	×
約30°以上傾いた場所(推奨15°以下)	×
不安定な場所	×
垂直な面(スタンドの破損に至る場合もあります)	×

前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

■ **取付角度について**

本機は、ジャイロと加速度センサーを内蔵しています。自車位置を正しく表示させるために、必ず下記の範囲内で取り付けてください。

● できるだけ水平な場所に停車させ、**取付角度ゲージ**を使って、取付角度を測ってください。(P.208)

FM-VICS用アンテナ 700V 500V:付属/700 500:別売

● **必ず車室内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。**
サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。

● **性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。**

● **国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。**

※ 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条 および 別添37

車載用吸盤スタンドを取り付ける

- 付属のスタンド用ストラップを車載用吸盤スタンドに取り付けて、仮止めしながら設置する位置を確認してください。
- 付属のクリーナーで、設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

本機と車のラジオアンテナの間に障害物となるようなものがある場合には、FMトランスミッターの受信状態に影響しますので、できるだけ受信状態の良い場所に取り付けてください。

1 取付シートを貼り付ける

- 貼りなおさないでください。粘着力が弱くなります。

ダッシュボード(設置面)
気温が低いときは、ドライヤーなどで温めてください。

しっかり定着させるため、貼り付け後、約24時間以上経過してから、スタンドを取り付けてください。

お願い

車載用吸盤スタンドは、必ず取付シートの上に取り付けてください。

- 吸着面全体がしっかりと密着していないと、使用中に外れるおそれがあります。
- 吸盤の吸着力でダッシュボードが変形する場合があります。
- ダッシュボードに吸盤の跡が残る場合があります。

2 クッション材を貼り付ける

- 振動でノイズが発生する原因になりますので、下図のとおりクッション材を両端に貼り付けて安定させてください。

❺クッション材

❷車載用吸盤スタンド

3 クレードルの向きを変える

1 クレードルを起こす
2 180° 回転させる

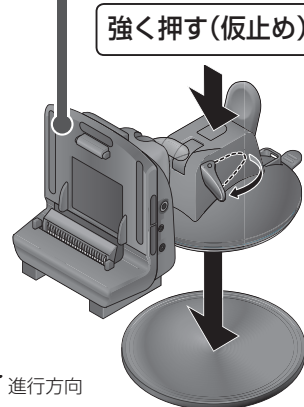
- 固いときは、少しずつ力をかけて回してください

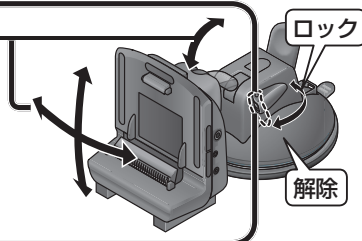
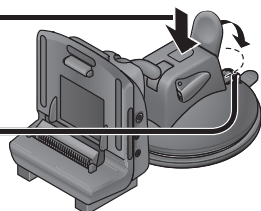
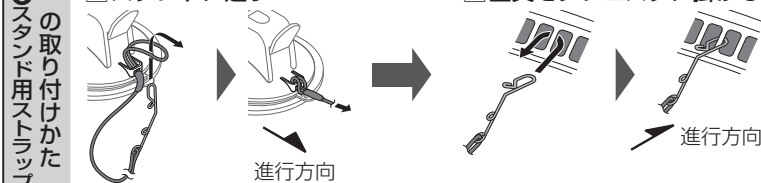
4 吸盤保護カバーを外す

1 レバーを上げる
2 吸盤保護カバーを外す
- 大切に保管してください。

進行方向

5 車載用吸盤スタンドを取付シートに仮止めする

- クレードルがダッシュボードにあたってスタンドが密着しない場合は、ロックを解除してください。

次ページへ続く

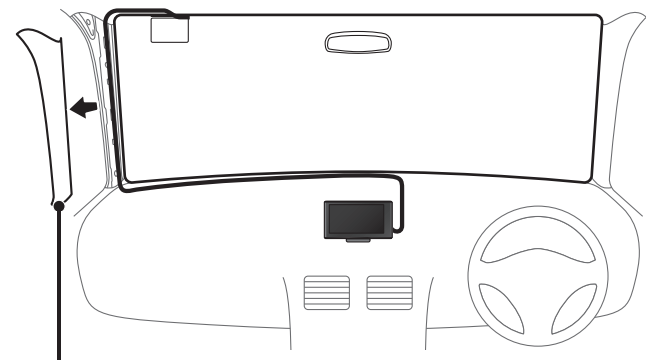
車載用吸盤スタンドを取り付ける（続き）

お願い

- 定期的に（およそ1週間に一度）スタンドの取り付けが緩んでいないか確認し、レバーを再度ロックしてください。
- 吸盤の吸着面が汚れたときは、スタンドのお手入れをしてください。(P.152)

FM-VICS用アンテナを取り付ける 700V 500V

700 500
FM-VICSを受信するには、別売のFM-VICSキット（CA-VF010D）が必要です。

取り付ける前に

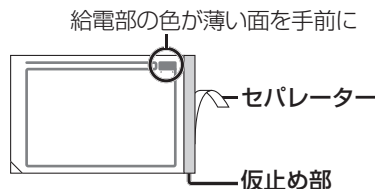
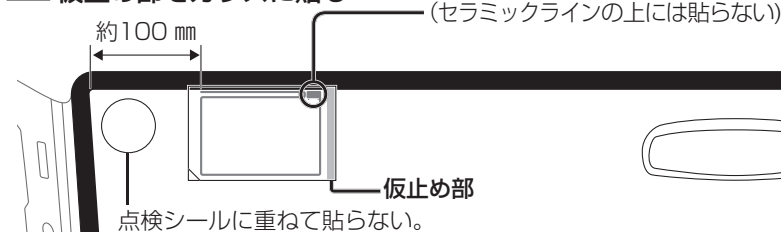
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めして、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ピラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。
  - ·設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。接着不良などによるはがれの原因になります。
  - ·気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
  - ·界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
  - ·熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから10cm以上離して貼り付けてください。

取り付ける前に、ピラーのカバーを取り外してください。

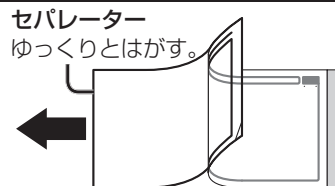
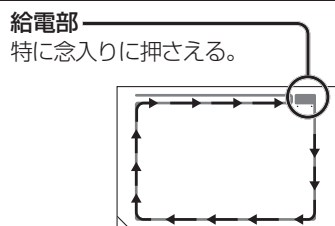
- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。詳しくは、お車のカーディーラーへご相談ください。
- 作業が困難な場合は、お買い上げの販売店（専門業者）へご依頼ください。
- 配線後、ピラーのカバーをもとに戻してください。
- **ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。**

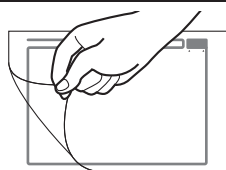
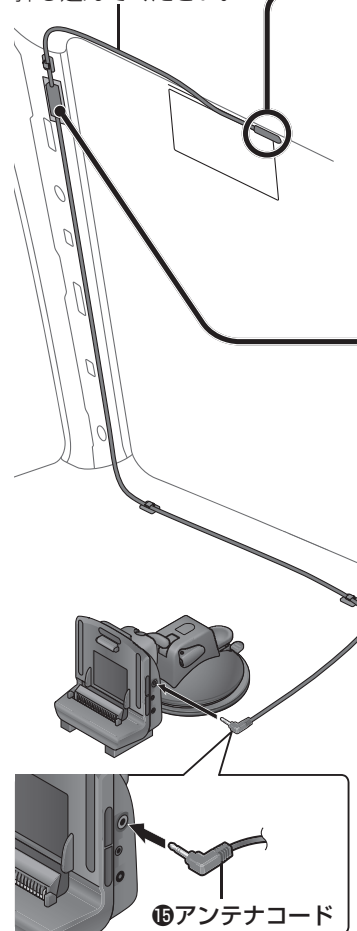
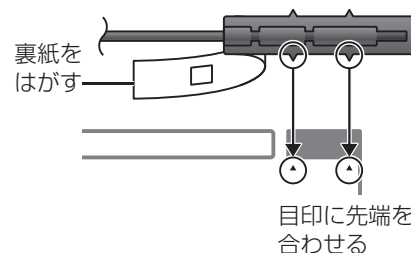
FM-VICS用アンテナを取り付ける（続き）

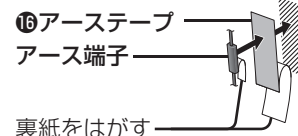
アンテナを貼り付ける

1 仮止め部のセパレーターをはがす

- 糊面に触れないでください。

2 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る

3 セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける

- 糊面に触れないでください。
- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。

4 アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる

5 フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす

- アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。

アンテナコードを取り付ける

1 コードの端子を、アンテナの給電部に貼る

2 アース端子を金属部（塗装面）に貼り付けて、コードを引き回す

- **必ずアース端子を正しく貼り付けてください。VICSの受信感度が低下する原因になります。**
- **必ず、アーステープを貼ってください。**
- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。

3 コードを引き回す

- シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりしないでください。VICSの受信感度が低下する原因になります。

4 クレードルに接続する

取り付け・配線をする

部品番号は、内容物一覧をご覧ください。

シガーライターコードを接続する

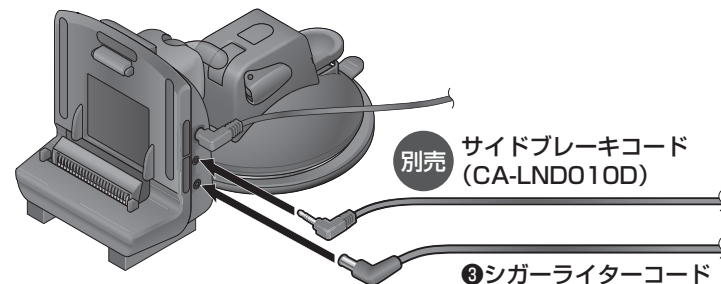
シガーライタープラグ
(ヒューズ5A)
- DC12V⊖アース車専用

シガーライターソケット
- 奥までしっかりと差し込む。

❸シガーライターコード(2m)

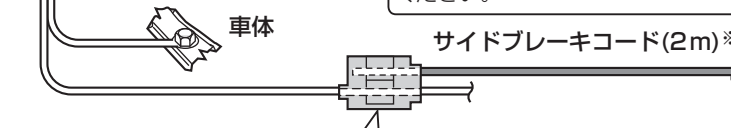
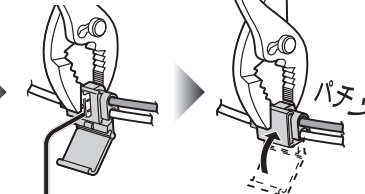
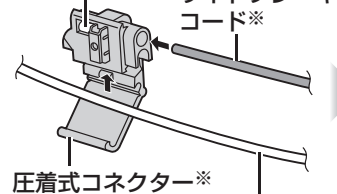
接触不良を起こしたり通電しない場合は
ソケットの端子の位置を確認し、通電する角度に調整してください。

お願い

- 使用しないときは、ソケットからプラグを抜いてください。
  ナビゲーション本体が接続されていない状態でも、プラグを接続したままにしておくと、約8mAの電流を消費します。
- **ヒューズの交換は、お買い上げの販売店にご依頼ください。**

走行 / 停止判定をサイドブレーキに連動させる場合は

別売のサイドブレーキコード(CA-LND010D)を接続し、走行/停止判定を「配線」に設定してご使用ください。(P.146)

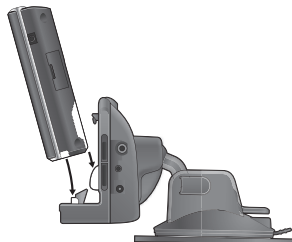
- サイドブレーキの仕様は車種によって異なります。
  詳しくは、お車のカーディーラーへご相談ください。
- 作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

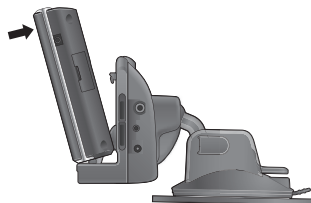
サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない方へ接続してください。

コードクランパー※
要所を固定してください。

※ 別売のサイドブレーキコード(CA-LND010D)に付属。

ナビゲーション本体を車載用吸盤スタンドに取り付ける

- 電源が「切」の状態で行ってください。

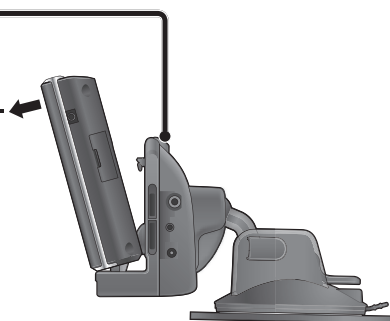
1 くぼみと溝を、車載用吸盤スタンドの突起に沿わせ、スライドさせる

2 矢印の方向に押し込む

- カチッと音がするまで、しっかりと押し込んでください。

お願い

- 液晶ディスプレイを押さないでください。

ナビゲーション本体を取り外すには

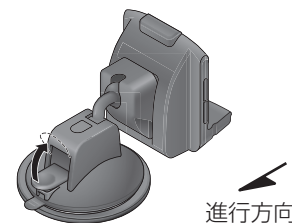
1 取り外しボタンを押しながら

2 矢印の方向に取り外す

車載用吸盤スタンドを取り外すには

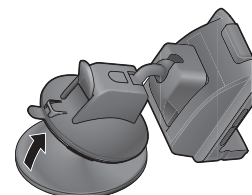
- 他の車にのせかえるときや、本機を長期間使用しないときなどは、車載用吸盤スタンドを取り外してください。

準　備

- ナビゲーション本体および各コードを、取り外してください。

1 レバーを上げる

2 後面のタブを持って取り外す

お知らせ

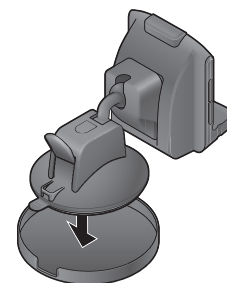
- 気温が低いときは、吸盤をはがしにくい場合があります。

3 吸盤保護カバーをかぶせる

お願い

- 吸盤に汚れや傷が付かないように、必ず吸盤保護カバーをかぶせて保管してください。

お知らせ

- 設置面（取付シート）に吸盤の跡が残る場合がありますが、性能には問題ありません。
  スクラブ成分入り化粧石けん※またはエタノールで拭き取ることができます。

※ 溶剤の成分は、商品のラベル表示などでご確認のうえ、注意書きに従ってお使いください。

電源について

車内で使う場合

電源を入れる

● シガーライターコードを接続し、ナビゲーション本体をスタンドに取り付けてください。(P.34、P.36)

1 **車のエンジンをかける**(またはACCをONにする)

● 電源が入ります。

起動パスワード認証画面が表示されたら

起動パスワードを入力して、認証してください。
(起動パスワードを設定する→ P.50)

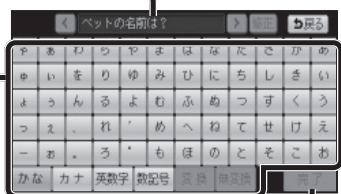
1 **ヒントを確認する**

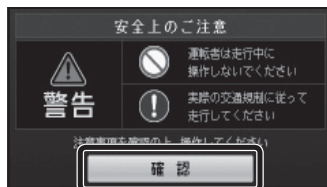
2 **パスワードを入力する**
●文字入力のしかた→P.150

3 **完了 をタッチする**

4 **OK をタッチする**
●パスワードが認証され、本機が起動します。

お知らせ

● 走行中は起動パスワードを入力できません。
停車して入力してください。

2 **警告画面の内容を確認して、確認 をタッチする**

● 現在地画面(P.62)が表示されます。
● 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

■AVの画面が表示された場合

現在地 をタッチすると、現在地画面(自車位置)が表示されます。

お知らせ

● 初めて起動したときは、JR東京駅周辺の地図が表示されます。
しばらく見晴らしの良い道路を走行し、GPS衛星からの信号を受信すると、自車位置付近の地図が表示されます。(P.44)

電源を切る

車のエンジンを切る(またはACCをOFFにする)

● 電源が切れます。
● 車両によっては、本機の電源が切れない場合があります。
(その場合、シガーライターコードの通電ランプも消灯されません)
車を離れるときは、必ずシガーライタープラグを抜いてください。
バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなる場合があります。

内蔵電池で使う場合

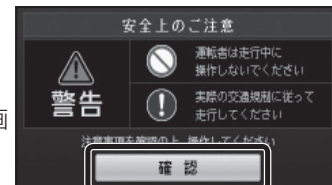
電源を入れる

● お買い上げ時は内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからお使いください。(P.42)

1 **電源が「切」の状態で、電源スイッチを矢印の方向にスライドさせる**

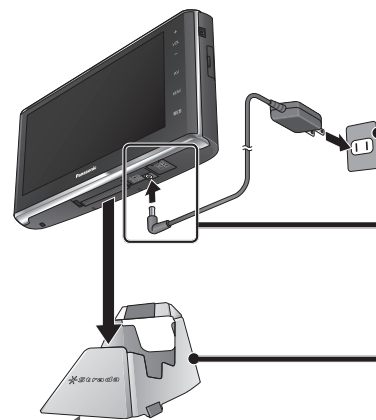
● 電源が入ります。
● 指を離すと、電源スイッチはもとの位置に戻ります。
● 起動パスワード認証画面が表示されたら → P.38

2 **警告画面の内容を確認して、確認 をタッチする**

● 現在地画面(P.62)が表示されます。
● 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

電源を切る

電源が「入」の状態で、電源スイッチを矢印の方向に電源が切れるまで(約2 秒間)スライドさせる

● 電源が切れます。
● 指を離すと、電源スイッチはもとの位置に戻ります。
● もう一度電源スイッチを矢印の方向にスライドさせると電源が入ります。(「Goodbye!」と表示されている間は、電源スイッチをスライドさせても電源は入りません。)

ACアダプターで使う場合

ACアダプターを接続する

● 電源が「切」の状態で行ってください。

1 コンセント(AC 100V)に接続する

2 本機に接続する

● コネクターは、左図の向きで取り付けてください。

■ 取り外すときは

本機→コンセントの順に取り外してください。

お知らせ

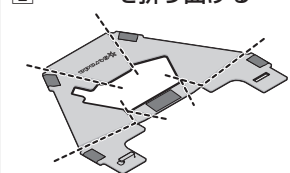
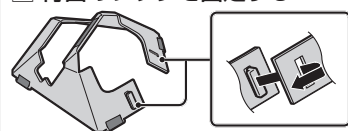
● ACアダプターの取り付け/取り外しを行っても、電源は自動的に入/切されません。

組み立てかた

1 ゴムテープを貼り付ける

⑬ ⑫ゴムテープ(大)

⑬ゴムテープ(小)の端を穴に合わせ、巻くように貼る(4カ所)

2 - - - - - - -を折り曲げる

3 背面のフックを固定する

家庭用スタンドを取り付ける

● **ACアダプター使用時は、必ず家庭用スタンドをご使用ください。**

側面図

安定した平坦な場所で使用する。

お願い

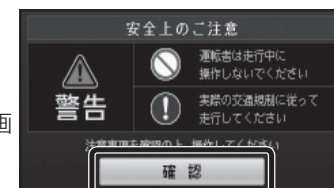
● **不安定な場所では使用しないでください。**

電源を入れる

1 電源が「切」の状態で、電源スイッチを矢印の方向にスライドさせる

● 電源が入ります。
● 指を離すと、電源スイッチはもとの位置に戻ります。
● 起動パスワード認証画面が表示されたら → P.38

2 警告画面の内容を確認して、確認をタッチする

● 現在地画面(P.62)が表示されます。
● 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

お願い

● 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは、2 m以上離すか、コンセントを別にしてください。
● 使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
ACアダプター接続時は、電源が切れている状態でも約0.1 W〜 4 W(充電時)の電力を消費します。(消費量は、本機の充電状態によって異なります。)
接続されていない状態でも、ACアダプターをコンセントに接続したままにしておくと、最大0.8 Wの電力を消費します。

電源を切る

電源が「入」の状態で、電源スイッチを矢印の方向に電源が切れるまで(約2 秒間)スライドさせる

● 電源が切れます。
● 指を離すと、電源スイッチはもとの位置に戻ります。
● もう一度電源スイッチを矢印の方向にスライドさせると電源が入ります。(「Goodbye!」と表示されている間は、電源スイッチをスライドさせても電源は入りません。)

内蔵電池を充電する

シガーライターコードを接続して、車のエンジンをかける(ACCに入れる)または、ACアダプターを接続する

- 充電を開始します。
- 充電中は、充電ランプ(CHG)が点灯します。
- 本機の電源が「入」のときは、画面上の電池残量表示でも充電状態をお知らせします。

充電時間・連続使用可能時間の目安

連続使用可能時間:満充電で連続して使用した場合
充　電　時　間:残量なし(全放電)から充電した場合

項目	700V 700		500V 500	
充電	約3時間(電源「切」の状態で、全放電から満充電まで)			
ナビゲーション	約3時間	明 る さ:センター／案内音量:中のとき	約3時間10分	明 る さ:センター／案内音量:中のとき
ワンセグ	約3時間10分	明るさ:センター／音　量:10のとき	約3時間20分	明るさ:センター／音　量:10のとき
電池保持期間	常温約20日間(電源「切」の状態で、満充電から全放電まで)			

- 充電時間･連続使用可能時間は、使用条件によって異なります。
- 電池の充電時間と使用可能時間は目安です。
  数値を保証するものではありません。
- 内蔵電池で使用するときは、電力の消費を抑えるため、画面の明るさを暗くしたり、音量を小さくすることをお勧めします。

充電ランプ・電池残量表示について

本機の状態に応じて、表示が下記のように切り換わります。

	充電状態	電池残量表示	充電ランプ
シガーライターコードまたはACアダプターで使用時	充 電 中		点　灯
	満 充 電	(橙)	消　灯
	異常あり	――――	点　滅
内蔵電池で使用時	残量：多	(緑)	――――
	残量：中	(緑)	――――
	残量：少	(赤)	――――
	残量なし	(灰)	――――

長期間使用しないときは

- 放電によって内蔵電池の残量がなくなり、電源が入らない場合があります。再度充電してご使用ください。
- 定期的に(1カ月に一度)充電してください。

お知らせ

- 本機は、電源が「切」の状態でも、約10 mWの電力を消費しています。
- 周囲の温度が高温または低温のときは、満充電されるまでの時間が長くなる場合があります。また、充電できない場合もあります。充電は必ず10℃～35℃の温度範囲で行ってください。
- 高温または低温のため充電できない状態で、内蔵電池が満充電されていない場合は、充電ランプが点滅します。
- 周囲の温度が高温(40℃以上)のときは、電池保護のため、満充電時の約半分の残量まで自動的に放電されます。
- 内蔵電池保護のため、内部の温度が極端に高温または低温になると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。常温に戻ってから、再度電源を入れなおしてください。
- 充電式電池は、累積の使用時間により少しずつ消耗／劣化します。そのため、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなることがあります。

LOCKポジションについて

電源が「切」の状態で、電源スイッチを**カチッと音がするまで**矢印の方向にスライドさせると、電源「切」の状態で固定(ロック)されます。
かばんなどに入れて持ち運ぶとき、電源スイッチがスライドして電源が入るのを防ぎます。

LOCKポジション

■ **解除するには**
矢印の方向にスライドさせる

お知らせ

- 電源が「入」の状態でロックすることもできます。
- 電源の状態のみロックされます。
  タッチパネルの操作などはロックされません。

はじめに
電源について